

第1回いじめ再調査に係る再発防止策等検討会における主な発言要旨

1 検討会の今後の進め方に関する協議において出された意見

- (1) いじめの防止等のための対策の検討に当たって現状の取組などを把握
- (2) 子どもたちと大人(教師)が、いじめ問題への取組に対し同じ気持ちを共有できているか把握
- (3) 理想と現実の間に差があることについての阻害要因を取り除く方法の検討
- (4) 組織的な対応ができていないということについて、報告書にある提言をどう実現していくか議論
- (5) 夏休みにおける補習等の欠席について、教員がどう認識しているか把握
- (6) 他の調査委員会などで行われたアンケートや個別聴き取りの項目、対象者などを把握

2 所掌事務(1)～(3)の検討に係る論点として出された意見

(1) いじめの防止等のための対策

(2) 重大事態発生防止策及び発生後の学校等の対応

(3) いじめ調査委員会の調査のあり方

①いじめの定義が非常に広い範囲であることの意味をとらえる取組を検討

②「いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめの対処」の3つがうまくサイクルを描くための取組を検討

③理念だけでなく行動レベルで変化させることによる意識や状況の改革を検討

④人権感覚の醸成など、いじめに特化しない広い視点から考える取組の検討

⑤教室や職員室など学校の雰囲気づくりについての検討

⑥初期段階のいじめへの対応についての教職員研修内容の確認と検証

⑦実際に学校現場で教育に携わる方々に対する共通理解や学ぶ機会の設定

⑧学校における基本調査報告のあり方について検討

⑨いじめの重大事態の調査目的について、当事者間で共通理解を持つための取組を検討

⑩いじめ調査委員会のより具体的な調査方法等について、検討会で提言